

## 実績指数とFIMにおける経時的変化の違い

### 1. 研究の対象

平成25年6月～令和2年3月に美原記念病院回復期リハビリテーション病棟に入院した方

### 2. 研究目的・方法

回復期リハビリテーションの目的の一つには、日常生活動作を改善することがあげられます。また、平成28年度の診療報酬の改定では実績指数が導入され、回復期リハビリテーション病棟では、長期間の入院とならずに日常生活動作を改善することが求められています。

当院の先行研究において、日常生活動作の指標となるFunctional Independence Measure (FIM)のMinimally Clinically Important Difference (MCID)である22点以上の変化があった時点をイベントに設定して多変量解析を行った結果、年齢が若く、発症から回復期リハビリテーション病棟入院までの日数が短い、下肢の麻痺が軽度な患者が日常生活動作能力の早期改善に有利であることを示しました。この結果から、日常生活動作の能力を効率的に高めるためには、抽出された要因に合致した患者を受け入れることが望ましいということになります。実績指数という政策的誘導により患者さんの入院適応を厳しくすることに繋がるのが危惧されました。

先行研究では、これら日常生活動作の改善に関して、実績指数を直接用いての分析は行っていないため、今回、回復期リハビリテーション病棟入院から退院まで1週間ごとの日常生活動作の自立度を示す指標であるFunctional Independence Measure (FIM)と実績指数を解析したデータを活用し、実績指数が回復期リハビリテーション病棟入院基本料の基準として適切か否か判断することの一助となることをめざしていきます。

美原記念病院リハビリテーション部では、入院時と退院時に加え、週に1回リハビリテーション担当者が身体機能評価や生活状況の評価を行っています。今回の調査には、このデータを用います。方法は、FIMを中心としたデータの回復経過を作成し、回復経過内でのデータ比較や麻痺の程度など他データとの関連を調査します。

これらの研究は、2020年12月～2022年10月の間に実施します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、生活状況の情報 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 リハビリテーション部

研究責任者 石森卓矢

住 所：群馬県伊勢崎市太田町366

T E L : 0270-27-8813 F A X : 0270-24-3359